

これまでの実績と来期へ向けた申し送りについて【政策等検討分科会】

●今期における政策等検討分科会の活動実績

1. 議会基本条例の検証

議会基本条例を制定し、1期4年が経過したことにより、制定後の取組実績、取組評価、条文に関する課題・改善策を取りまとめ、検証を行った。

2. 予算・決算審査のあり方について検討

令和7年9月定例会までは分科会方式で審査を行うこと、来期での審査方法については来期の議会で決めるることを確認し、また、来期で審査方法を決定できるよう、有効な審査方法について検討し、取りまとめを行った。

3. 政務活動費のインターネット公開について

政務活動費の領収書等のインターネット公開に関する各市議会での状況の報道を受け、検討を行い、領収書等をインターネット公開するよう決定した。

4. 議員の兼業（請負）規定について

地方自治法の一部改正を受け、伊勢市議会議員政治倫理条例第3条の2に規定する「市との契約に関する遵守事項」の扱いについて検討を行い、伊勢市議会議員政治倫理条例第3条の2を削除した。

5. 議会における規則の整備

伊勢市議会事務局設置条例施行規則、伊勢市議会議員政治倫理条例施行規則を規程に再整備。

6. 予算特別委員会分科会、決算特別委員会分科会での賛否確認

分科会の中で賛否確認を行う取扱いについて、検討を行った。

7. 決算特別委員会の委員構成（監査委員の取扱い）

決算特別委員会の委員構成について、委員会に付託される会計年度において監査委員であった議員を決算特別委員会委員から除く取り扱いを改め、「議長及び監査委員である議員を除くすべての議員」に改めた。

8. 先進地視察

令和6年度 神奈川県秦野市、茅ヶ崎市、藤沢市、横須賀市

令和7年度 滋賀県湖南市、岐阜県関市

●来期への申し送り（検討必要項目）

- ・予算・決算審査のあり方
- ・政策立案・政策提言の取組
- ・施策に対するチェック・評価
- ・議長の任期
- ・常任委員会委員の任期
- ・常任委員会の数、複数所属
- ・各常任委員会の所管
- ・議会基本条例・議員倫理条例の検証・見直し
- ・一般質問の活性化・質問時間
- ・副議長、監査委員の一般質問
- ・議会の通年制
- ・その他

これまでの実績と来期へ向けた申し送りについて【広報広聴検討分科会】

●今期における広報広聴検討分科会の活動実績

1. 高校生議会

- | | | |
|-----|--------------------|----------|
| 第1回 | 令和元年度 | 7校 18名参加 |
| 第2回 | 令和4年度 | 8校 20名参加 |
| 第3回 | 令和5年度 | 8校 23名参加 |
| 第4回 | 令和6年度 | 9校 22名参加 |
| 第5回 | 令和7年度 (高校生との意見交換会) | 5校 15名参加 |

2. 議会ツアー

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 令和4年度 | 4校、1団体 | 106名参加 |
| 令和5年度 | 10校 | 555名参加 |
| 令和6年度 | 7校、1団体 | 350名参加 |
| 令和7年度 | 8校 | 398名参加 |
| | | ※合計 1,409名参加 |

3. 議会報告会・意見交換会

- | | | |
|--------------------------------|-----------|-------|
| 令和5年度 | 伊勢市総連合自治会 | 8名参加 |
| 令和6年度 | 伊勢市総連合自治会 | 19名参加 |
| ※令和4年度、3年度は新型コロナウイルス感染症のため実施せず | | |

4. 先進地視察

- | | |
|-------|----------------|
| 令和4年度 | 静岡県富士市、神奈川県秦野市 |
| 令和5年度 | 広島県呉市、広島県廿日市市 |
| 令和6年度 | 愛知県安城市、静岡県湖西市 |
| 令和7年度 | 大阪府八尾市、兵庫県神戸市 |

●来期へ向けた申し送り（検討必要項目）

- ・高校生議会（高校生との意見交換会）、議会ツアー、議会報告会・意見交換会などの広聴活動について、引き続き実施を検討していくこと。
- ・議会だよりについて、他市議会の事例も研究し、市民に身近な議会となるよう紙面の編集に力を入れること。
- ・これまで実施してきた先進地視察について、内容・成果を参考とし、有益な事業等を取り入れ、議会改革につなげること。

これまでの実績と来期へ向けた申し送りについて【議会ICT検討分科会】

●今期における議会ICT検討分科会の活動実績

1. 全議員を対象にオンラインでアンケートを実施

個々のパソコン・タブレットにおける理解度を把握するため、令和4年5月に全議員を対象に「議会のデジタルデバイドに係るアンケート」を実施。また、令和6年7月にも全議員を対象に「議会ICTに関するアンケート」を実施した。

2. オンライン会議に備え、Zoomを活用しオンライン会議の接続テストを実施

オンライン会議が実施できるよう会議規則等の改正を控えていたため、いざというときにZoomが使えるようオンライン会議の接続テストを実施した。

3. オンライン会議用ソフトの検証の実施

Zoom、WebexMeetings、GoogleMeet、MicrosoftTeamsを実際に接続し、採点した。検証の結果、伊勢市議会としてZoomを使用していくことを確認した。

4. 令和5年6月定例会から段階的に議会資料（議案・委員会資料）のペーパレス化を実施

スケジュール		
(A) 令和5年6月	(B) 令和5年9月	(C) 令和5年12月から
並行運用 (紙資料を全議員に配付)	並行運用 (紙資料を希望者に配付)	本格運用 (紙資料は原則配付しない)

令和5年9月定例会から市当局の理事者においてもタブレット（ノートパソコン）を議場に持ち込むようになり、タブレット議会がスタートした。

5. タブレット活用のための勉強会を実施

議会のデジタルデバイド解消に向け、Google ドライブ・Microsoft Edge等の勉強会を実施。

6. 来期に向けてタブレットの更新の方向性について確認

7. 講師に伊勢市教育研究所のICTアドバイザーを招いて全議員を対象に情報モラルについての議員研修会を実施

8. 先進地視察

令和5年度 神奈川県開成町、埼玉県所沢市

●来期への申し送り（検討必要項目）

- ・パソコン（タブレット）の更新
- ・議員間のデジタルデバイド対策
- ・新たな勉強会の実施（会議録検索システムの活用方法等）
- ・SNSの活用